

# 2023年12月期 第2四半期決算説明資料

~事業計画及び成長可能性に関する事項~

---

2023/08/28

株式会社Welby  
(証券コード 4438)

# 目次

1 会社概要

2 2023年第2四半期業績

3 今期重点取組施策とその進捗

4 今後の成長

5 参考資料

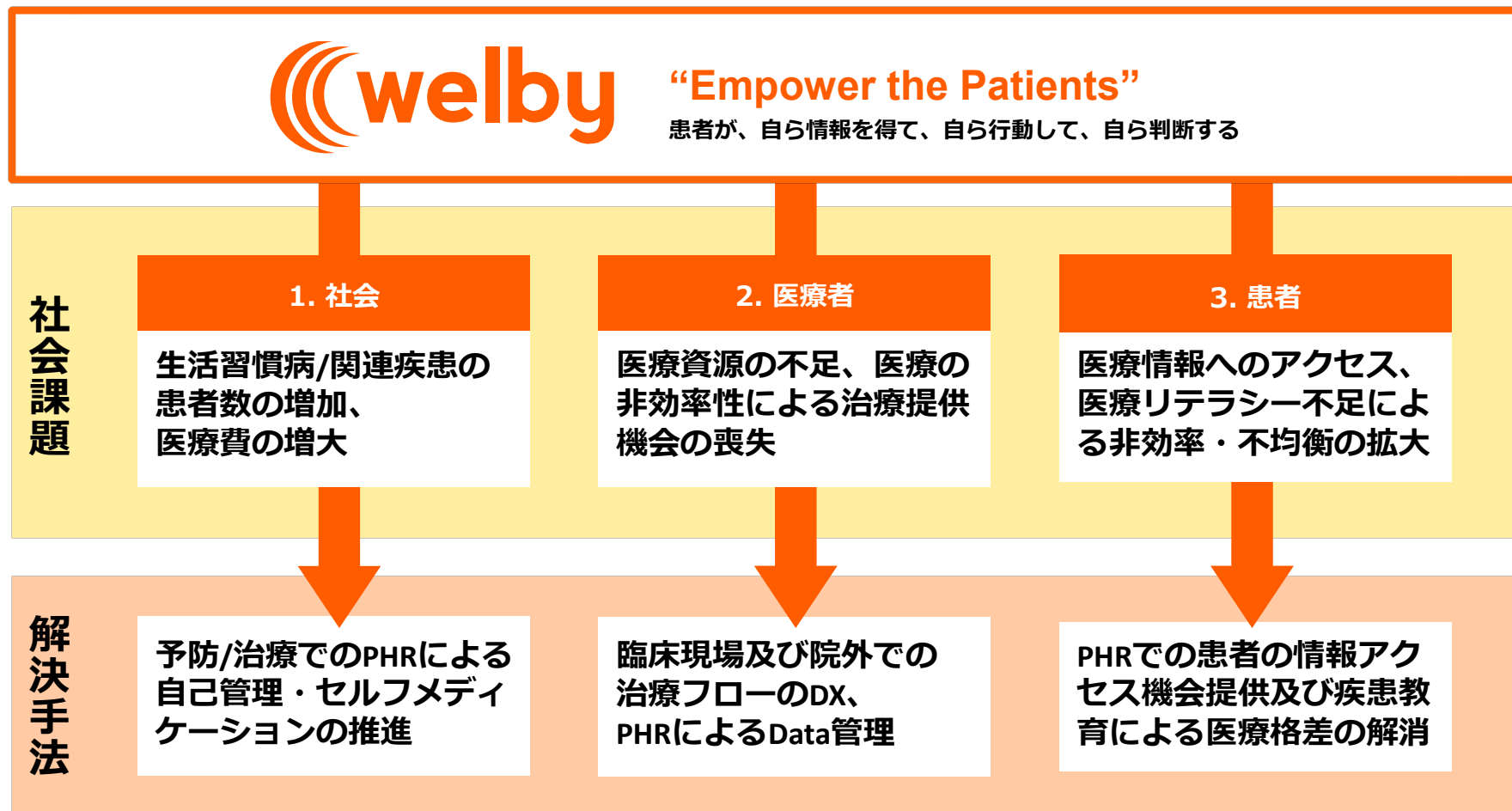


# “Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する



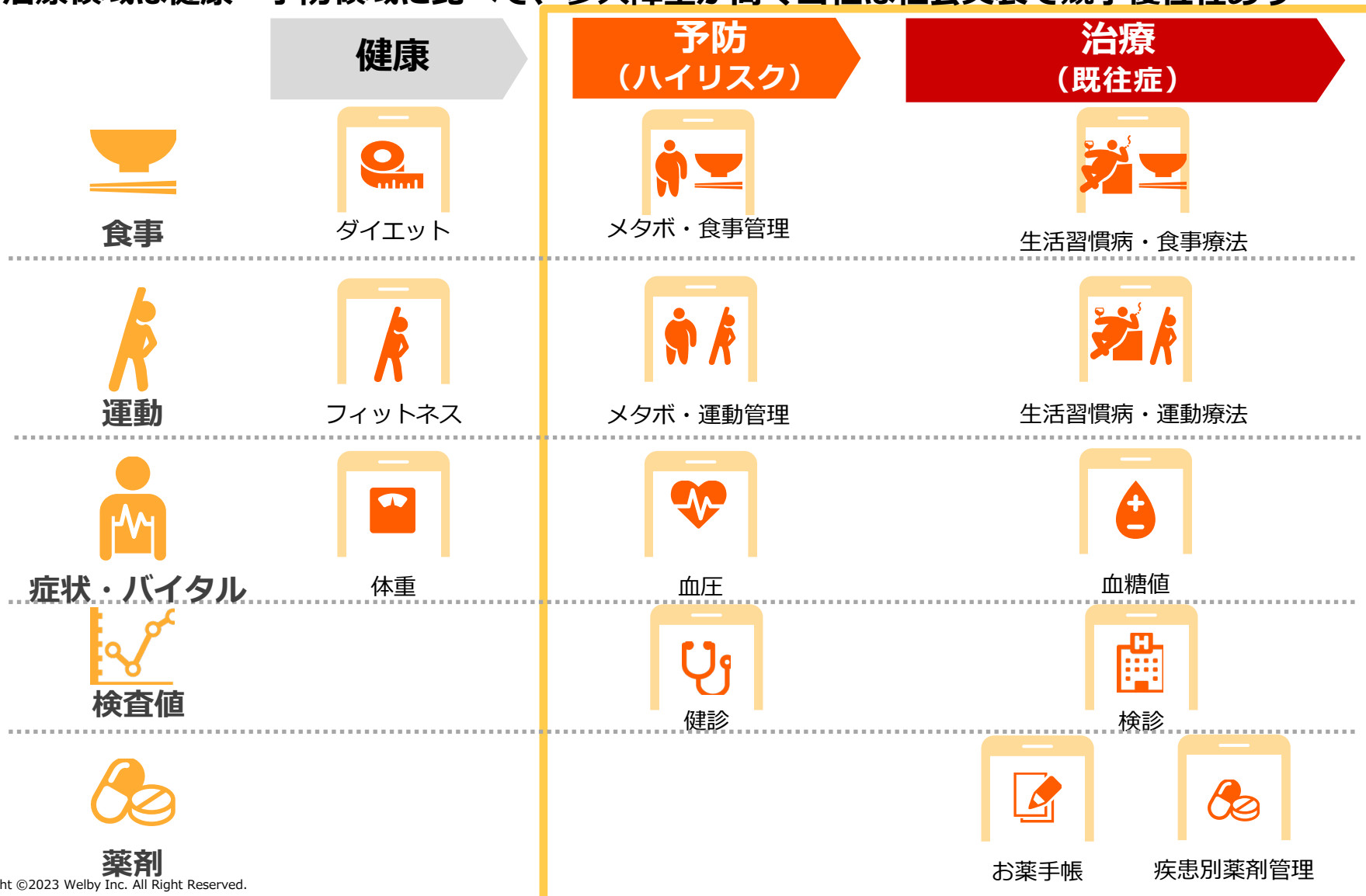
# MissionであるEmpower the Patients の実現を通じて、医療にまつわる様々な社会課題の解決を図る



※PHR:Personal Health Recordの略で個人のHealth Recordを管理共有する仕組み

## 予防・治療領域に特化したPHRプラットフォームサービス

治療領域は健康・予防領域に比べて、参入障壁が高く当社は社会実装で競争優位性あり



## 「治療アプリ」として、PHRを処方する時代に

～医療機関にて患者に疾患別アプリを紹介：糖尿病、高血圧、がん等～

### 1 医師が患者にアプリを紹介

クリニック専用パンフレットで案内  
クリニック専用アプリを提供



### 2 患者自身がかんたん記録

バイタル / 食事 / 運動 / 処方 / 睡眠  
検査値等測定機器と連動

Bluetooth HRジョイント。



### 4 療養指導を効率的/効果的に 患者の治療が継続

治療継続・効率化

アウトカム改善



### 3 データは医療機関と共有 データをグラフ等で確認

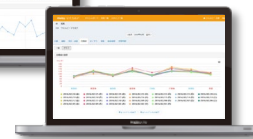
医療機関の  
PC / タブレット等で確認



食事管理



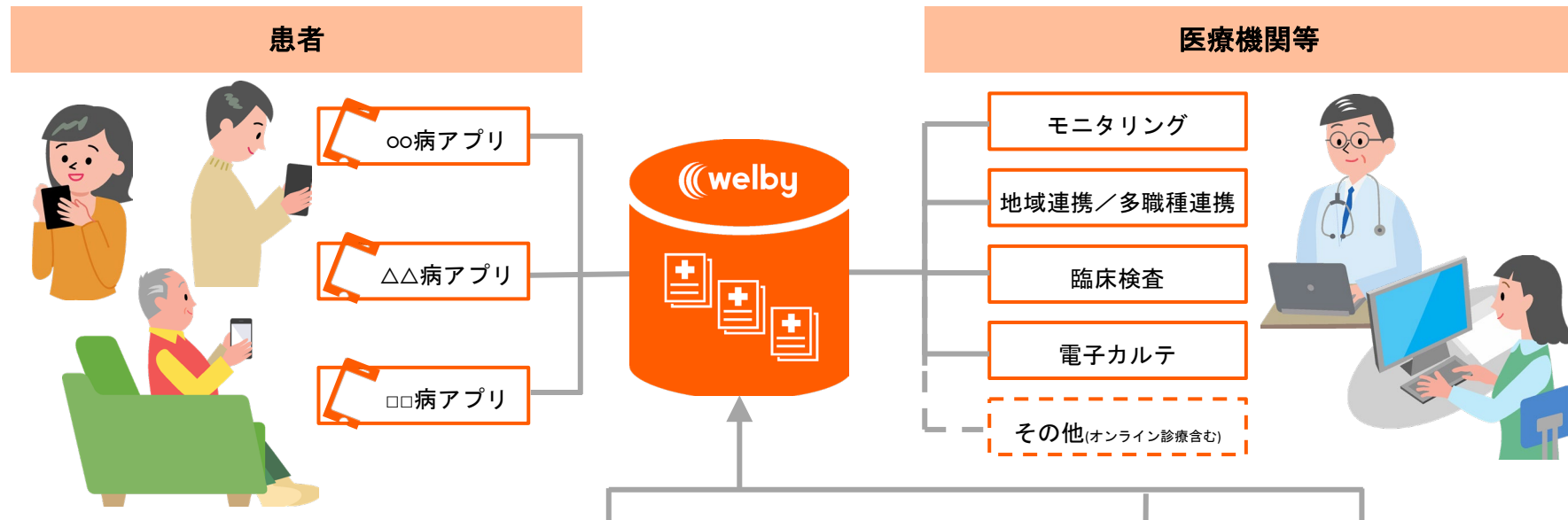
血圧・体重



血糖値

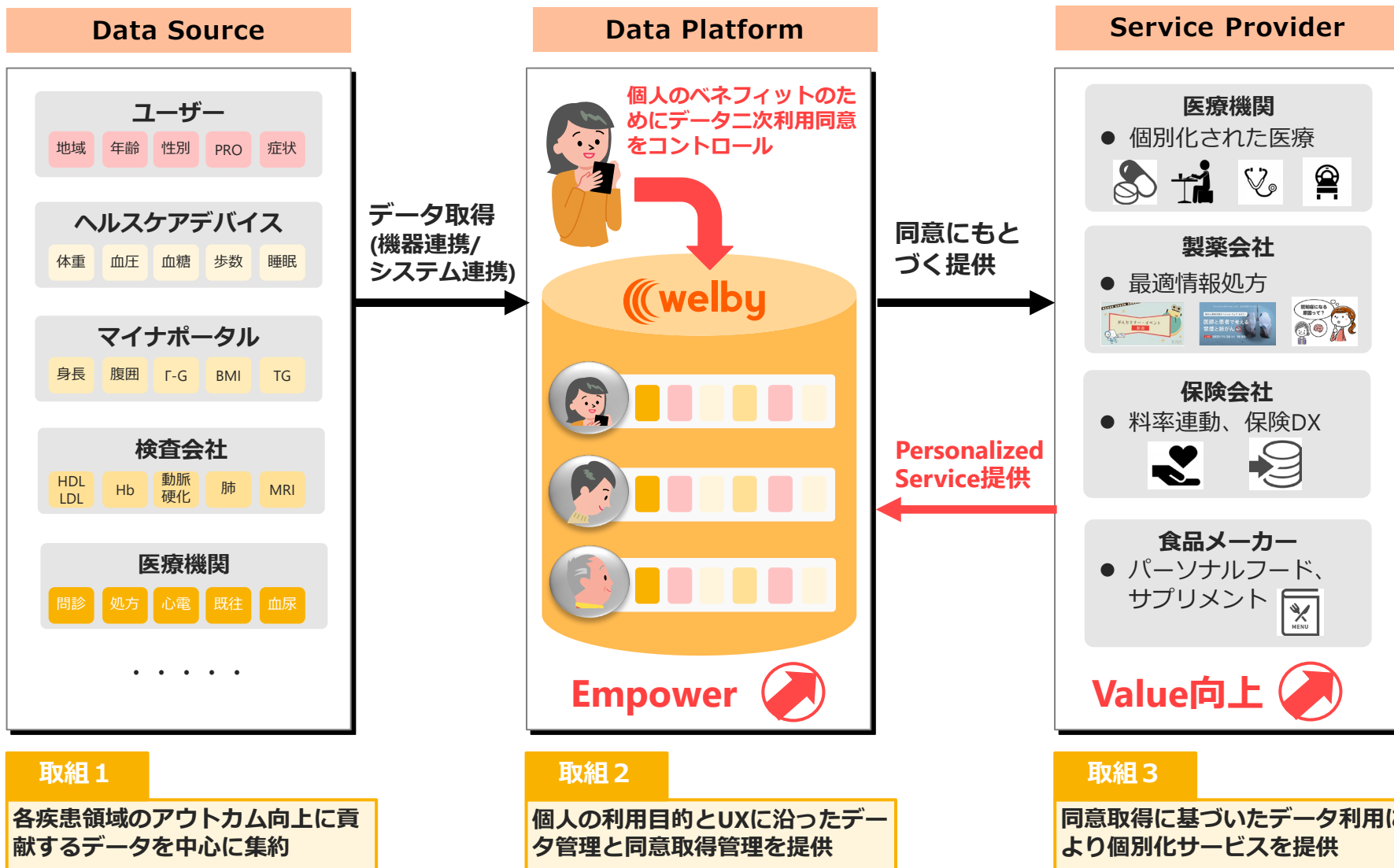


## 各種センサー機器、アプリケーション及び電子カルテ、マイナポータル等と連携可能な患者起点のデータプラットフォームを提供



センサー機器	アプリケーション	マイナポータル
<p>血圧/血糖値/体重/体組織活動量/不規則脈波/睡眠 など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="86 992 521 1335"> <p><b>OMRON</b></p> <p>HEM-9200T HEM-7211T HEM-7281T HEM-7325T HEM-7511T</p> <p>HBF-255T-BK HBF-255T-R HBF-255T-W HEM-6323T HEM-6324T HEM-6325T</p> <p>H3A-405T-BK H3A-405T-G H3A-405T-W H3A-405T-WR</p> <p><small>*HEM-9200Tは、 モバイルアプリとの 連携に対応済みです</small></p> </div> <div data-bbox="531 992 966 1335"> <p><b>TERUMO</b></p> <p>ES-W7000Z WT-81000Z</p> <p>メイトセーフティ MS-FR2018</p> <p>メイトウォーク アームイン&amp;アウト メイトセーフティ MT-K7000Z F00000Z</p> <p>スマイル</p> </div> <div data-bbox="975 992 1178 1335"> <p><b>AND</b> Dienwar Drancien</p> <p>UC-3038LE</p> <p>TM-2657 (QRコード)</p> <p>LW-3028LE</p> </div> </div>	<p>スマートフォンアプリ</p>	<p>・特定健診/後期高齢者健診 ・予防接種/新型コロナワクチン接種記録 ・薬剤情報</p> <p>マイナポータル</p>

主に慢性疾患の治療・未病領域におけるアウトカム向上にフォーカス  
データの活用範囲を定め、同領域でサービス提供する顧客の事業拡大に貢献





# 当社のPHRアライアンス

データ連携によるプラットフォーム構築と、サービス普及による社会実装を各パートナー企業と連携して推進

プラットフォーム構築  
(Data/サービス)

社会実装  
(普及/収益化)

Digital Garage

intage

OMRON

FUKUDA DENSHI

株式会社 三和化学研究所  
SKK

TERUMO

arkray

FUJITSU

日本郵政

SUZUKEN

AstraZeneca

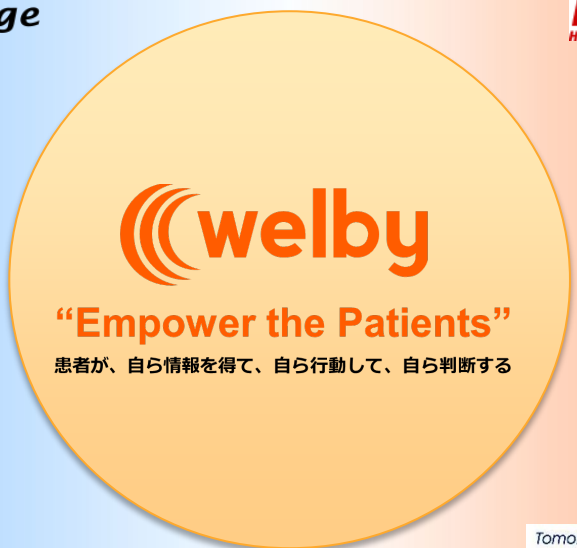
Aflac

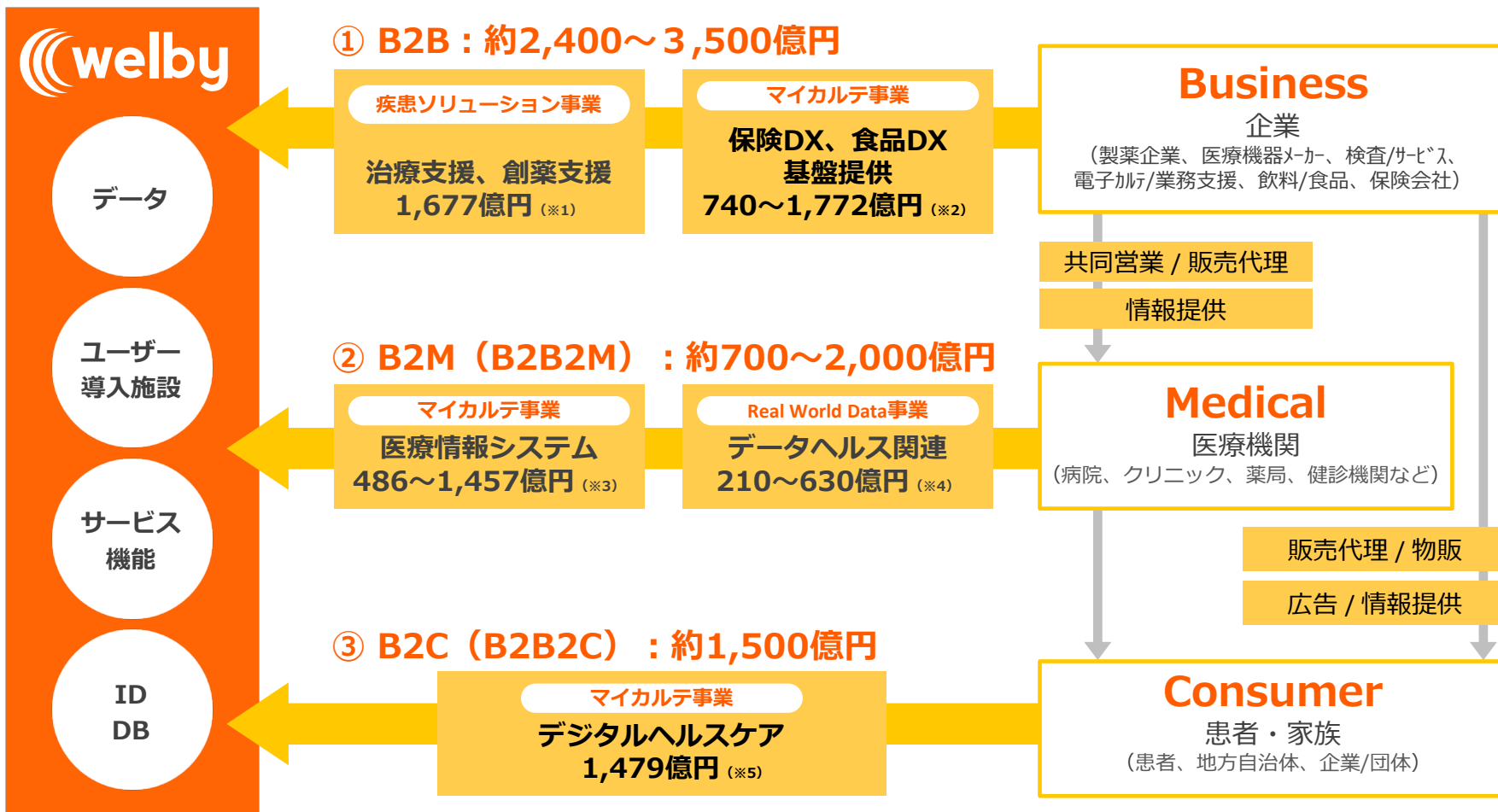
Benefit one

Tomorrow, Together  
KDDI

NTT docomo

SoftBank





※1 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.2」より、創薬支援、医療ビッグデータ分析、医薬品開発支援、医療向けプロモーション市場規模の合計1284億円と、同文献項目、ビッグデータ活用治療・診断システムの市場規模3928億円のうち、10%にあたる393億を合算した1677億を潜在市場として想定。

※2 保険DX市場は、矢野経済研究所:「2020-2021 生命保険会社におけるInsuretech市場の実態と展望」における2021年同市場規模1880億円の10%~30%を潜在市場として推定。  
食品DX市場は、dentsu:「日本の広告費」における2020年食品業界広告費2240億のうち、10%を潜在市場と推定。

基盤提供は、富士キメラ総研:「ウェアラブル/ヘルスケアビジネス総調査 2023」より、システム・サービスの国内市場における2022年見込みの3280億円の10~30%を潜在市場として推定し、各市場を合算。

※3 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.1」より、医療情報システムの国内市場規模4855億の10%~30%を潜在市場として推定。

※4 シードプランニング:「データヘルスの市場動向と保険者支援事業者調査2020」より、2019年特定健診・特定保健指導、重症化予防・制度外保険指導等の合算2101億の10%~30%を潜在市場として推定。

※5 野村総合研究所:「ITナビゲーター2021年版」における、第5章 x Tech(B2C)市場 5.6. Health Tech (ヘルスケア) 市場の2021年市場規模1479億を潜在市場として想定。

# 目次

1 会社概要

2 2023年第2四半期業績

3 今期重点取組施策とその進捗

4 今後の成長

5 参考資料

売上高については、前年度からの期ズレが限定的であったこと、及びPHR共通基盤にかかる事業化と受注の遅れから減収。他方、中長期戦略を踏まえたPHR共通基盤等への先行投資は実施。

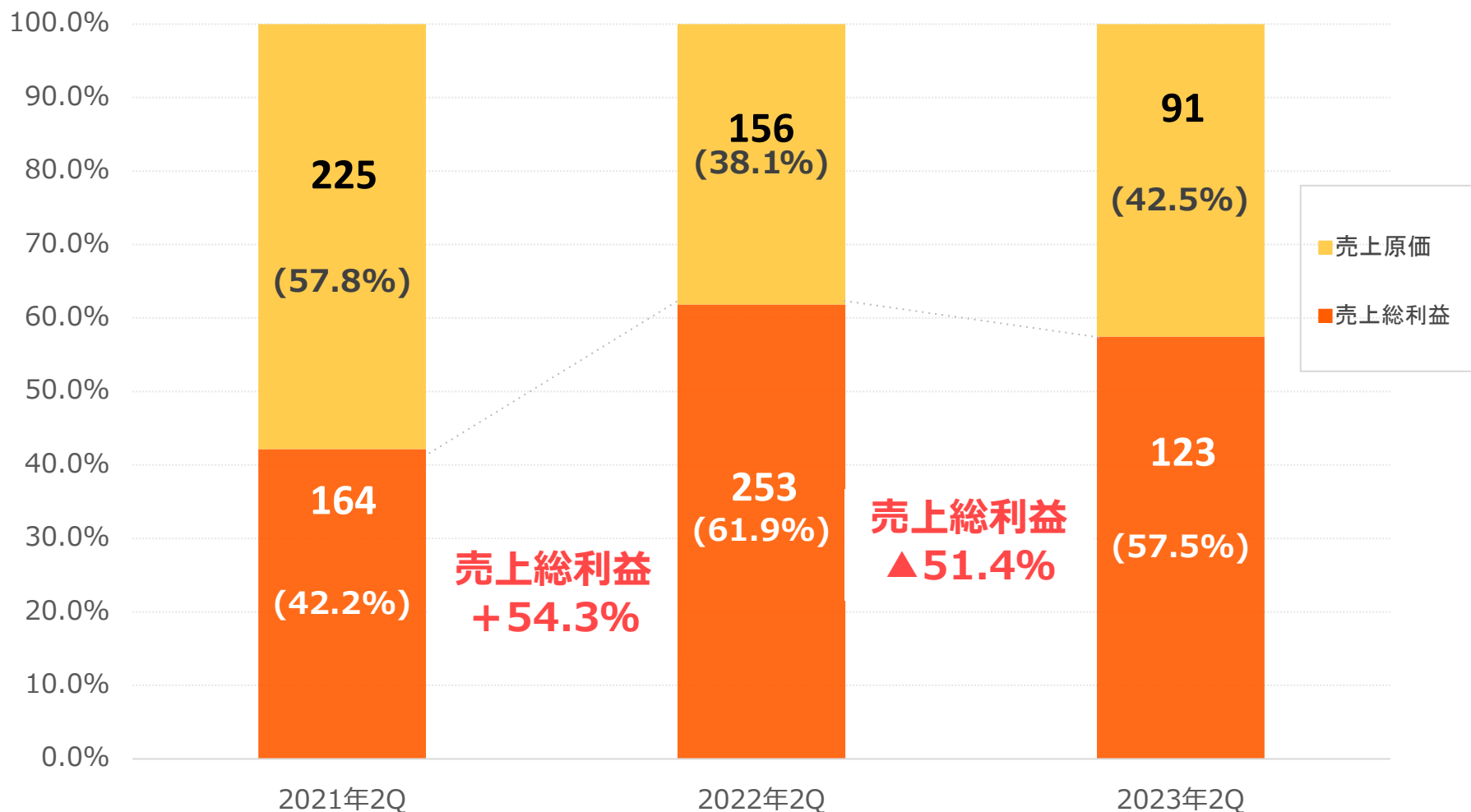
(単位：百万円)

	2023年 2Q実績	2022年 2Q実績	増減額	増減率
売上高	214	409	-194	-47.6%
(疾患ソリューション事業)	159	314	-155	-49.3%
(マイカルテ事業)	55	95	-39	-41.9%
売上総利益	123	253	-129	-51.1%
営業利益	-284	-114	-170	-
経常利益	-285	-118	-167	-
当期純利益	-270	-118	-152	-
<b>先行投資金額</b>	<b>102</b>	<b>86</b>	<b>+16</b>	<b>+18.6%</b>

※先行投資金額：マイカルテへの投資とプラットフォーム開発への投資の合計  
 ※疾患ソリューション事業には一部Real World Data事業での収益を含む  
 ※2023年第1四半期以前は単体決算であるため、前期の数値は参考データ

**PHR共通基盤にかかる事業化と受注の遅れ等により売上総利益は減少。一方、売上総利益率はPF開発によるコスト低減により高水準を確保**

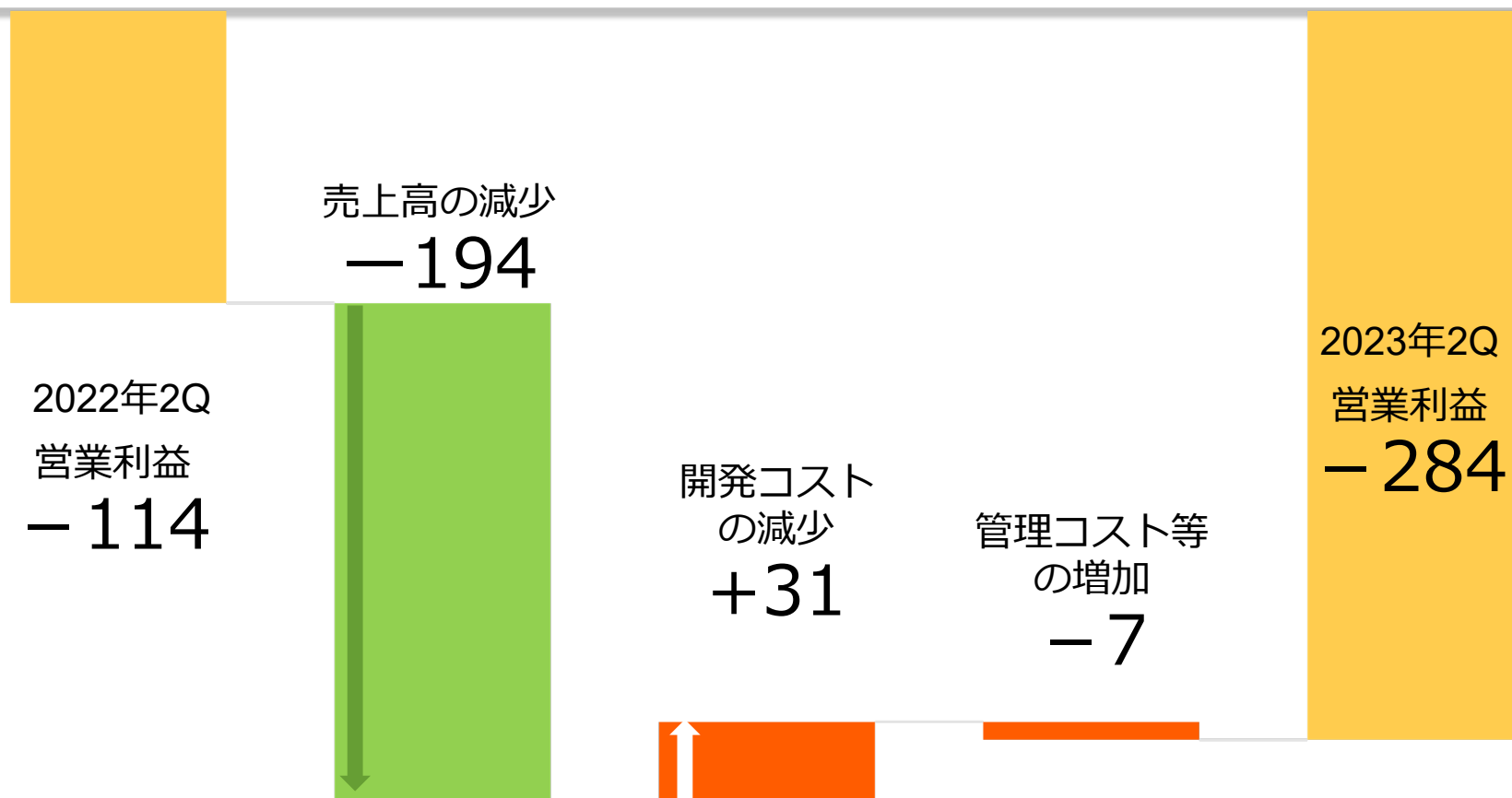
(単位：百万円)



※2023年第1四半期以前は単体決算であるため、前々期、前期の数値は参考データ

## 主に売上高の減少により営業利益が減少

(単位：百万円)



※2023年第1四半期以前は単体決算であるため、前期の数値は参考データ

これまで開発してきたPHR基盤とPHR製造部品を体系化。開発速度と品質を向上させ、PHRサービス提供開始までのリードタイムを短縮することで競争優位性の向上に寄与。今期も継続して投資を行い、今期以降の収益貢献を見込む

取組分野	プラットフォーム開発の取組	活用する事業領域
PHRサービス	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">糖尿病 アプリ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">循環器 アプリ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">呼吸器 アプリ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">精神 疾患 アプリ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">がん アプリ</div> </div>	
PHR PF Developers Kit (エコシステム構築)	<p>各種APIの提供による開発者支援 共通部品での統一品質、共通の開発手法での速度向上 (Welby IDログイン, 同意取得, 医療機関検索など)</p>	疾患ソリューション事業におけるサービス開発の期間短縮とコストダウン
医療機関連携	<p>医療機関へのデータ提供とデータ連携 (医療者向け画面, 服薬情報連携, EHR連携など)</p>	医療機関連携先の拡大/RWDの拡充 PHRによる医療データ流通の加速
PHR PF データマネジメント	<p>各種データAPI連携 / データ提供機能の開発 全サービスで統一されたセキュリティ品質 (機器連携, 臨床データ連携, 医療機関マスタなど)</p>	RWDを活用したマーケティングDXの推進 エビデンスソリューション
PHR PF Welby ID/DB基盤	<p>WelbyID・DBプラットフォーム共通基盤の開発 3省2ガイドライン, HIPAAを参照したセキュリティ及び情報管理体制、業界標準であるOIDC/FHIRの利用</p>	本人の同意に基づくデータ統合 (エビデンスソリューションの強化) Personalized DTC

**PHR市場が一定顕在化してきていることをふまえて、下期のパイプラインに一定の前提を置き開示を実施**

**PHRのリーディングカンパニーとして先行優位を生かし、業績予想達成を目指す**

**売上高：下記取組により前年度から一定の成長を目指す**

- ①製薬企業向けの受注活動や既存PHRサービスの改修等の取組
- ②生命保険各社をはじめとしたヘルスケア領域外の新規PHR事業者に対して当社基盤を提供する取組

**営業利益：売上総利益率の向上に努める一方、将来的な事業成長のため下記投資を加速**

- ①プラットフォーム開発への投資
- ②当社サービスの医療機関等への普及投資

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回発表予想	1,156	△106	-	-
2022年12月期	1,050	60	73	33

※2023年第1四半期以前は単体決算であるため、前期の数値は参考データ



(単位：百万円)

## BS

	2023年 2Q末	2022年 4Q末	増減額
流動資産	1,026	1,352	-326
固定資産	64	43	+20
資産 合計	1,090	1,395	-305
流動負債	95	120	-24
固定負債	0	1	-1
負債 小計	95	121	-25
純資産	994	1,274	-279
純資産 小計	994	1,274	-279
負債・純資産 合計	1,090	1,395	-305

## CF

	2023年 2Q	2022年 2Q	増減額
現預金の期首残高	830	960	-129
営業キャッシュ・フロー	19	5	+14
投資キャッシュ・フロー	-20	-25	+4
財務キャッシュ・フロー	-4	-4	+0
現預金の期末残高	825	936	-111

※2023年第1四半期以前は単体決算であるため、前期の数値は参考データ

# 目次

1 会社概要

2 2023年第2四半期業績

3 今期重点取組施策とその進捗

4 今後の成長

5 参考資料

## 疾患ソリューション事業

実臨床での普及

プライマリー/オンコロジー領域におけるプラットフォーム化

臨床研究への応用

**オンコロジー  
コンソーシアムの  
拡大**

## マイカルテ事業

**マイカルテのアク  
ティブ化増進**

PHR基盤OEMの拡大

保険ドメインでの  
事業化

**パートナー（スズケン、デジタルガレージ等）との協業**


## Real World Data事業

Real World Dataの  
DB推進

EMR/EHRとの連携

Data Portabilityの  
実現

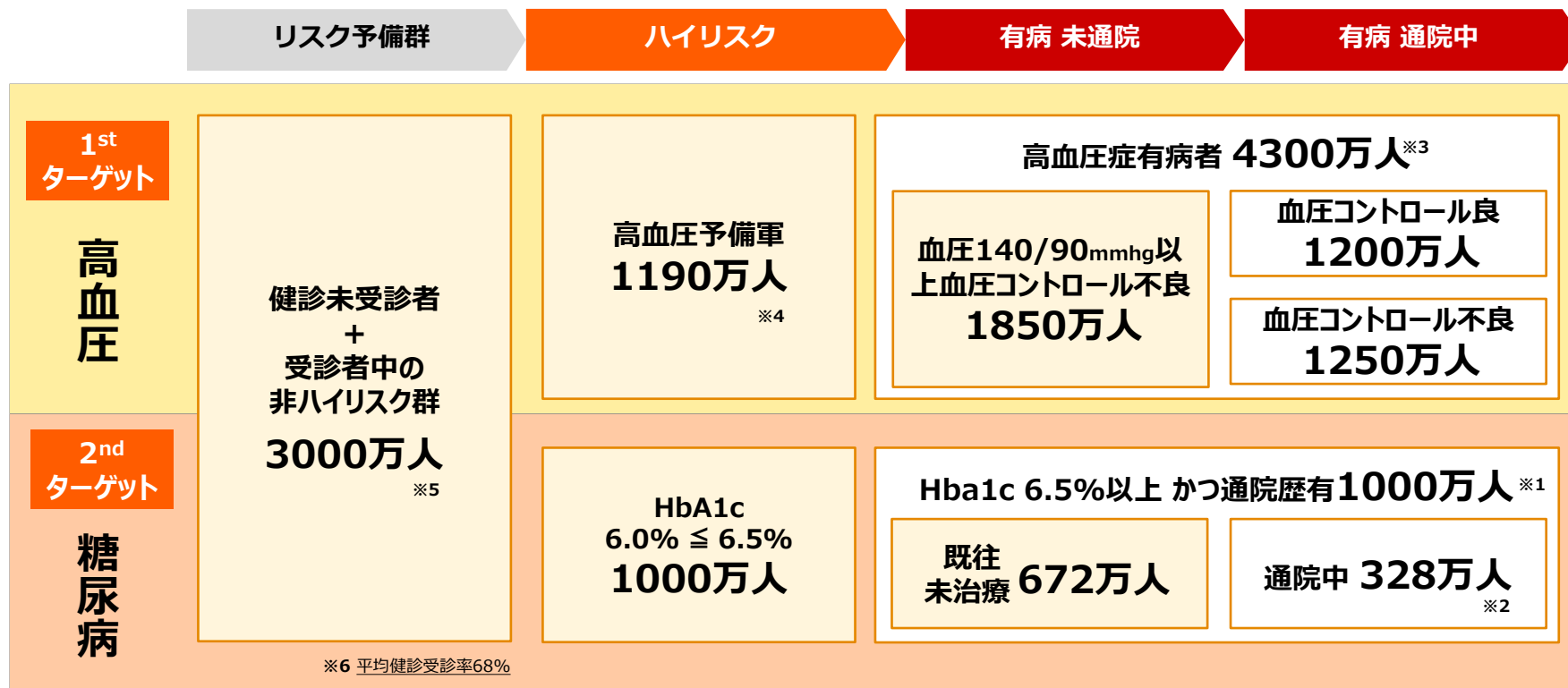
**プラットフォーム  
開発への積極投資**

※  は今期より新規記載項目

## 中期的な事業基盤の構築に向け、疾患領域ごとに重点取組施策を通じて普及拡大を図る

	事業戦略	KPIとその進捗
プライマリー領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Welbyマイカルテ」の医療機関向け普及</li> <li>循環器領域、糖尿病・代謝領域でのPHRサービス・データ利用のSaaS/PaaS型事業の拡大</li> <li>多様なデータ連携によるData Portabilityの推進</li> <li>ユーザー向けPersonalized（個別化）サービスの強化</li> </ul>	<p>内科系医療機関の内、登録かかりつけ医療機関数比率：</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>循環器内科</p> <p>45.6%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>糖尿病内科</p> <p>38.9%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>内科</p> <p>29.8%</p> </div> </div>
オンコロジー領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>「マイカルテONC」の医療機関向け普及</li> <li>がん種/薬剤/ニーズ別に、患者サポートプログラムの個別OEM開発</li> <li>臨床研究向けePRO、データソリューションを強化</li> <li>がん領域コンソーシアムの立ち上げ・拡大</li> </ul>	<p>がん診療連携拠点病院等の内、契約医療機関数比率： 医療機関456軒の内、47軒（10.3%）契約済</p> <p>10.3%</p>

健診未受診者を含む、予備軍約3000万人、ハイリスク群約2190万人に加え、有病者と推計される約2500万人に対し、PHRサービス普及を促進



※1厚生労働省 糖尿病患者概況 【2017年患者調査】 <https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/18/backdata/01-01-02-08.html>

※2糖尿病の通院患者数が過去最多の328万人超 【2017年患者調査】 <https://seikatsusyukanbyo.com/calendar/2019/009824.php>

※3オムロンヘルスケア推計 日本の高血圧人口4300万人 [https://www.healthcare.omron.co.jp/zeroevents/bloodpressurelab\\_basic/contents1/314.html](https://www.healthcare.omron.co.jp/zeroevents/bloodpressurelab_basic/contents1/314.html)

※4ミクス発表 高血圧予備軍を含む総数5490万人から、有病者4300万人を引いた患者数 <https://www.mixonline.jp/tabid55.html?artid=12571> ただし、ミクス推計は2007年データを利用

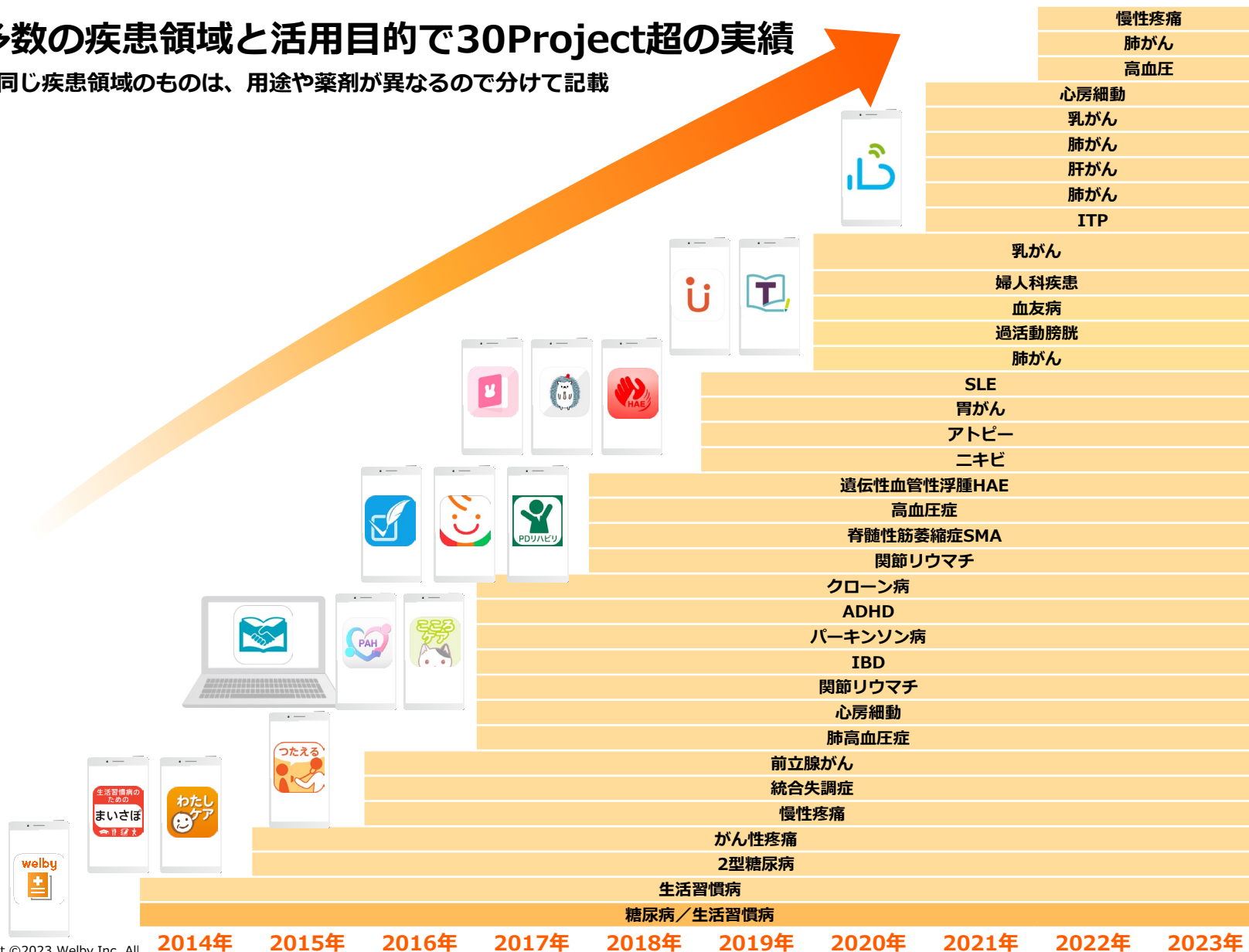
※5厚生労働省 「我が国の医療保険について」表内の保険加入者総数104,900千人からハイリスク群以下の患者数を序して推計。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iryuuhoken/iryuuhoken01/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuhoken/iryuuhoken01/index.html)

※6Johnson & Johnson 「みんなの健診&検診意識調査（2021年）」より、各健診受診者総数から計算し推計。 <https://www.jnj.co.jp/jjmkk/healthcare-of-new-normal/health-care-information/research-2021>

## 多数の疾患領域と活用目的で30Project超の実績

※同じ疾患領域のものは、用途や薬剤が異なるので分けて記載



分類	内容	ページ番号
共通	PHRサービス事業協会が正式発足、業界の標準化及び品質への取組みを推進 ~執行役（副会長）に当社代表・比木が就任~	P.23
	プラットフォーム基盤強化への先行投資/案件化を推進	P.24 -25
	WelbyのPHRプラットフォームがマイナポータルと連携 ~保健医療情報とライフログデータのシームレスな連携により、新たなPHR利活用ユースケースを創出~	P.26
	スズケングループと医療DXにおける連携強化	—
	リハサクへの出資ならびにリハビリ領域における協業を推進	P.27
プライマリー	パーソナライズ化されたヘルスケア事業推進のため、100%子会社となる株式会社Welbyヘルスケアソリューションズを設立	P.28
	株式会社スズケンと保険薬局向け「処方箋情報送信サービス」を共同展開	P.28
オンコロジー	「オンコロジーPHRコンソーシアム」を設立、国立がん研究センター中央病院らと PHRを臨床実装する共同プロジェクトを開始	P.29

## PHR事業者119社による「PHRサービス事業協会」が始動

# PHRサービス事業協会が正式発足、業界の標準化及び品質への取組みを推進 執行役（副会長）に比木が就任

### 設立趣旨

国民が安全かつ簡便にPHRを活用して、個人に最適化された医療やヘルスケアサービスを楽しむことができるよう、情報の可視化や行動変容、医療従事者との共有等の商品・サービスを提供するPHRサービス事業者による団体を設立する。これにより、多様なステークホルダー間の協調を促進し、PHRサービス産業の発展を通じて、国民の健康寿命の延伸や豊かで幸福な生活(Well-being)に貢献する。

### 目指すもの

PHRサービス産業が国民の健康寿命の延伸や豊かで幸福な生活(Well-being)へ貢献するため、以下の実現を目指す。

1. PHRサービス産業の協調と競争を通じた持続的な発展と国際競争力の確立
2. デジタル技術と科学的知見等を活かした利便性と信頼性の高い顧客価値の創出
3. 幅広い業種によるPHRサービス産業への参画を通じたオープンイノベーションの促進

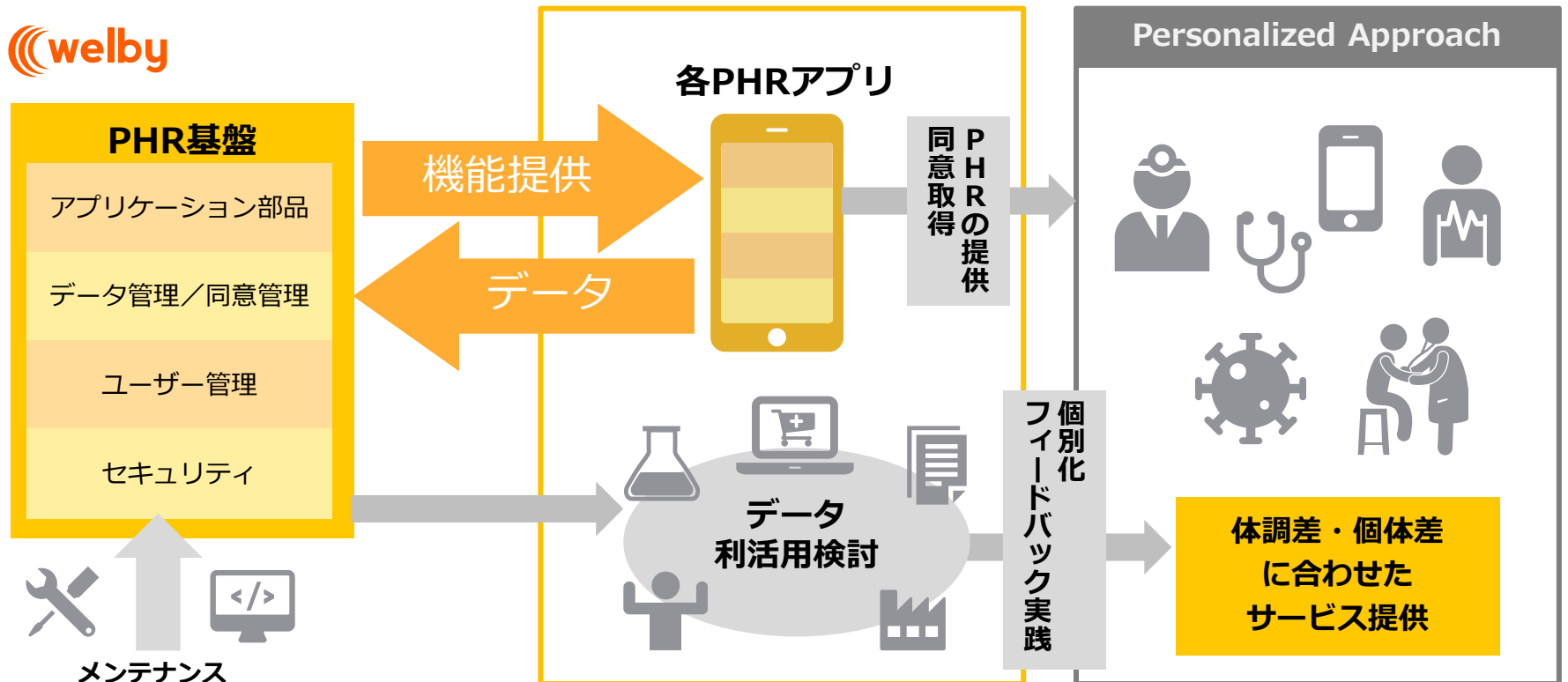
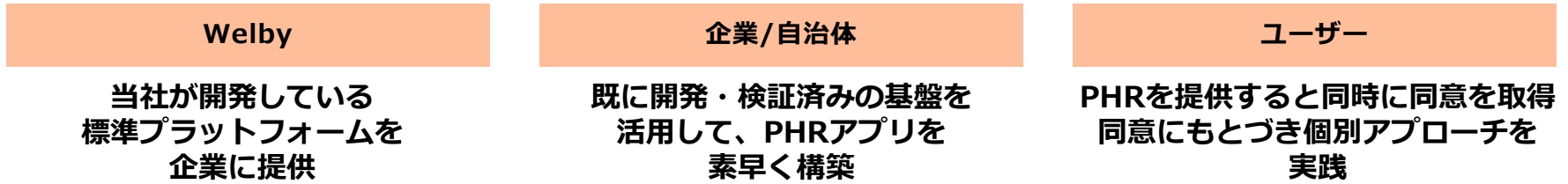
### 発足時参画企業(五十音順)：

株式会社Welby、エーザイ株式会社、株式会社エムティーアイ、オムロン株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、KDDI株式会社、塩野義製薬株式会社、シミックホールディングス株式会社、住友生命保険相互会社、SOMPOホールディングス株式会社、TIS株式会社、テルモ株式会社、日本電信電話株式会社、株式会社FiNC Technologies、富士通株式会社、富士通Japan株式会社、株式会社MICIN...他102社



## PHR共通基盤の他社への提供

# PHR共通基盤を他社に提供することで、企業や自治体のヘルスケアでの独自PHRサービス提供、データ分析等に貢献



## プラットフォーム基盤強化への先行投資

事業の拡大を支える共有技術基盤への投資を行うことで、PHRデータの利活用ニーズの対応を進めながら、同時に収益基盤の強化を行う

製薬事業

マイカルテ事業（保険含む）

### APPサービス

マイカルテ（生活習慣病患者）、マイカルテONC（がん患者向け）、各種疾患向けAPP（30種類以上）

### プラットフォームへの積極投資

データ基盤

開発基盤

セキュリティ

同意管理

サービス基盤

ユーザー基盤

#### 収益力強化

サービス開発標準化と部品化によるリードタイム短縮と開発コスト削減

PF提供によるPHRパートナー育成

#### 独自性の追求

医療機関連携サービスの更なる強化

疾患横断的な医療者向けのPRO活用サービス、EHRデータ連携

#### ニーズへの対応

個人の同意、データ統合、二次利用

マイナポータル、EHRデータを利活用した新サービス

WelbyのPHRプラットフォームがマイナポータルと連携

過去の治療・疾患管理記録、健康情報等を一元管理することが可能。患者と医療関係者のコミュニケーションを円滑にし、治療における双方の利便性を向上させることで、患者がよりエンパワーメントされる世界を目指す



データそのものやデータ分析の品質の向上に寄与

未病・予防領域のユーザーに対するサービス強化など新規領域へのビジネス展開に寄与

リハサクへの出資ならびにリハビリ領域における協業を推進

## カバーする治療シーンの拡張へ積極投資

薬物療法に加えて、運動療法でのPHR活用を実現し、当社のPHRの有用性を向上

### 対象疾患領域

整形外科領域を中心とした疼痛治療など  
循環器領域での心臓リハビリテーション  
オンコロジー領域でのがんリハビリテーション

### シナジー創出

ID連携による医療機関・患者向け周辺機能拡大  
医療機関向け普及活動  
製薬企業向けパッケージ作成及び営業活動



予防・診断

治療・通院

再発防止

### ID連携による患者利用者増加

病院・クリニックからリハビリ施設へ、リハビリ施設から病院・クリニックへ、アプリを通じて相互に送患

### 服薬と運動療法と健康状態をワンストップに管理

療法機能障害や筋力低下/体力低下がある患者に対しても、最適なアドヒアランスと機能回復を実現

### 予後のリテンション向上

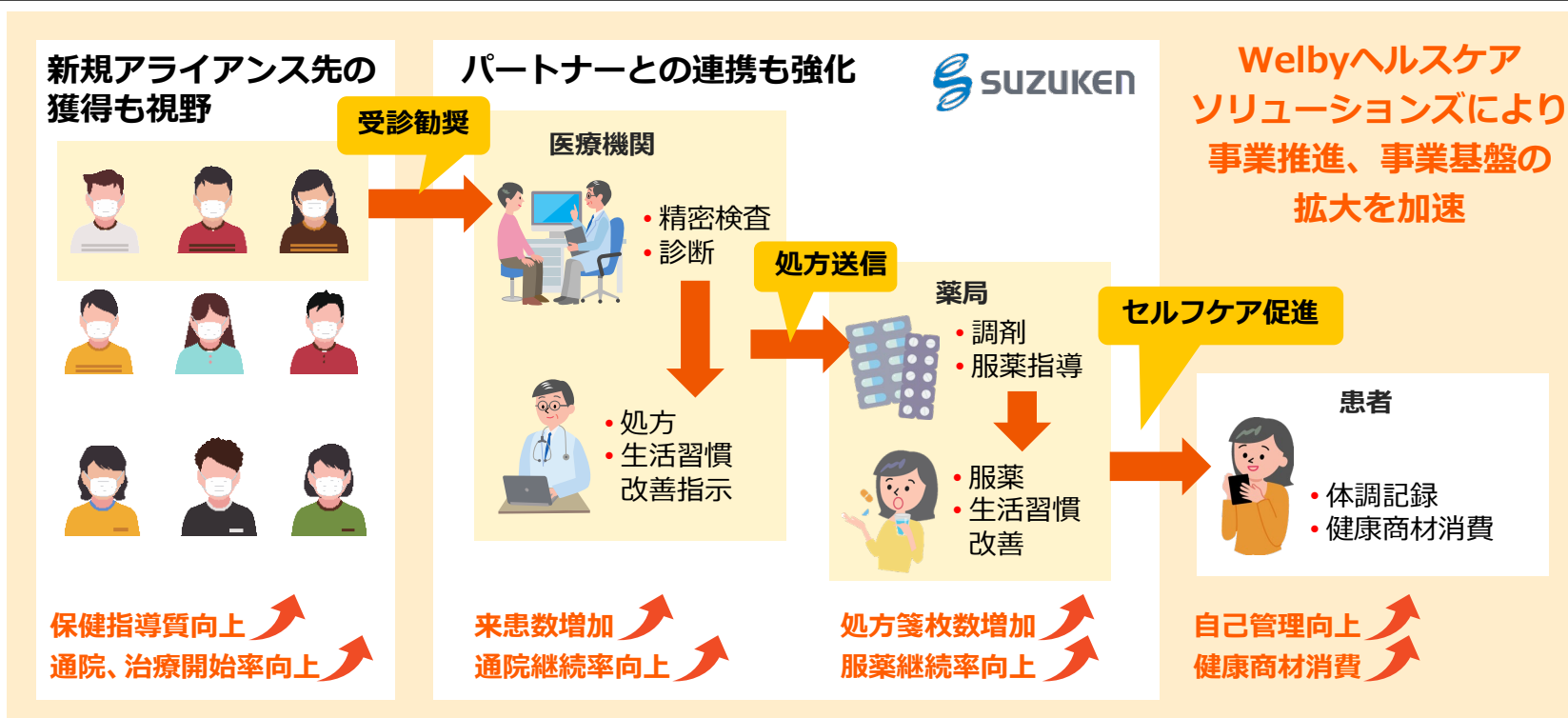
予後においても定期的な運動とデータ管理による治療効果最大化、再発予防

# WHS設立により事業推進、事業基盤の拡大を加速

未病・予防を含む生活習慣病領域におけるパーソナライズ化されたヘルスケア事業の推進に向けて100%子会社を設立。スズケングループや新規アライアンス先との連携など、機動的に事業基盤の拡大を加速



識別・診断  
▼  
治療・介入  
▼  
セルフケア



RWD事業

統一IDで束ねられたヒストリカルデータ

# 「オンコロジーPHRコンソーシアム」を設立

## 複数のコアとなる医療機関により、コンソーシアムを設立

### Mission

- PHRの普及を通して患者中心のがん診療を実現
- 医療機関でのPHR活用支援を通じて、適正なデータ活用によるがん診療の質を向上

### 今後のAction

- 医療者と患者の同意のもと、臨床データをレジストリ化し、治験や臨床研究での利用を推進する



臨床研究支援におけるプレスリリース

国立がん研究センター中央病院らとPHRを臨床実装する共同プロジェクトを開始(2023年4月21日)

# 目次

1 会社概要

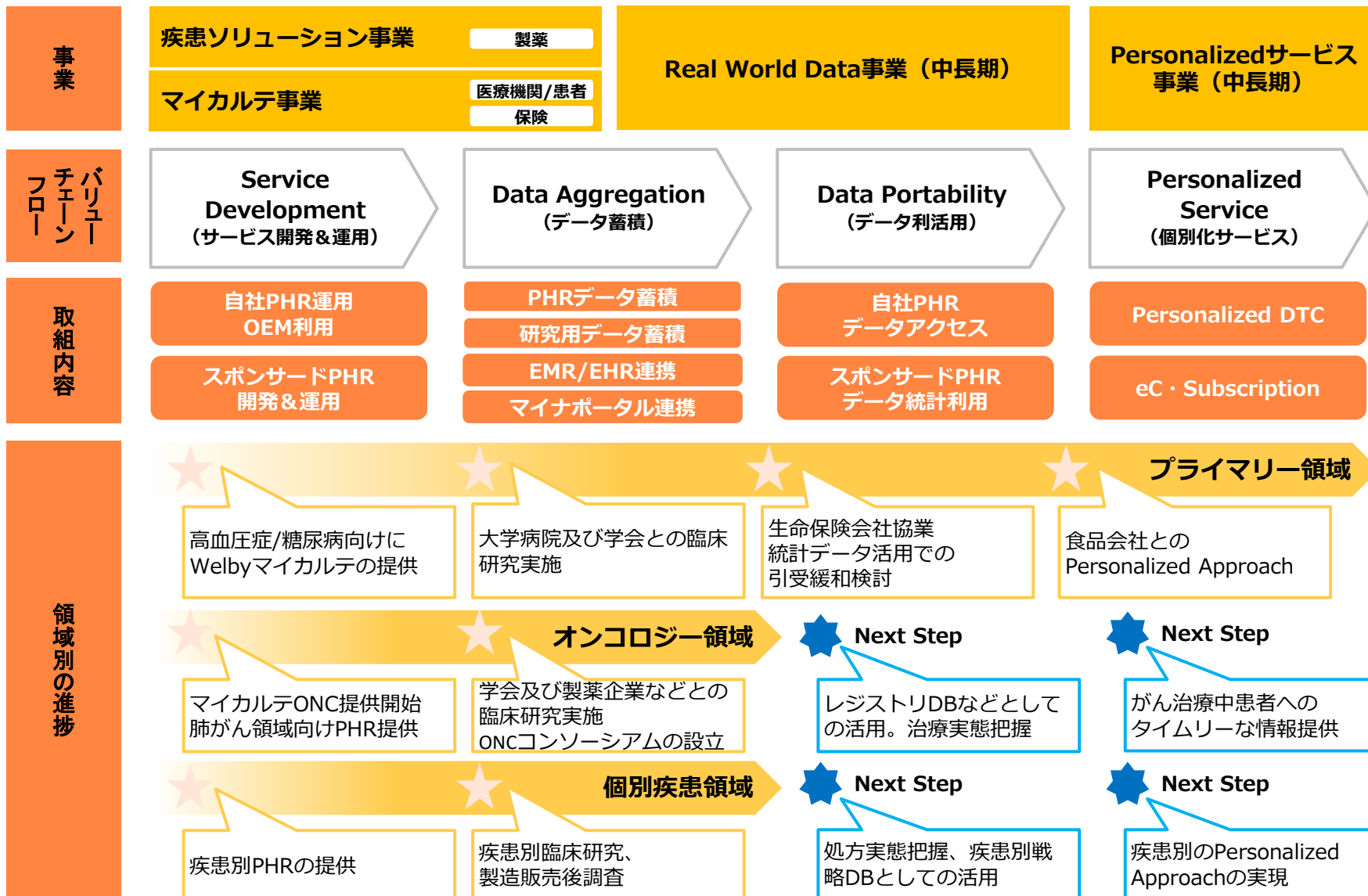
2 2023年第2四半期業績

3 今期重点取組施策とその進捗

4 今後の成長

5 参考資料

# 短期/中長期での事業バリューチェーンとその進捗





## 既存事業で拡大しつつ、以下三分野で更なる強化を図る



### 現在～短期

- ✓ **疾患ソリューション事業：**  
PHR適用対象疾患、対象薬品の拡大による収益拡大（マーケティング支援）
- ✓ **マイカルテ事業：**  
医療機関向け+企業・健保向けソリューション、PHR共通基盤提供による収益拡大

### 中期～長期

- ✓ **疾患領域別プラットフォームの推進**  
オンコロジー等での疾患領域別プラットフォームの開発
- ✓ **Real World Data事業**  
Real World Dataの活用：患者レジストリ、医薬品の開発、臨床研究、市販後調査など
- ✓ **Personalizedサービス事業**  
個人向けDTCサービス（疾患情報提供）、B2Cサービス（物販、コーチング）、などPHRプラットフォームサービスの価値向上による収益機会の獲得

# 目次

1 会社概要

2 2023年第2四半期業績

3 今期重点取組施策とその進捗

4 今後の成長

5 参考資料

## 疾患ソリューション事業は対象疾患領域拡大とサービス追加 マイカルテ事業は医療機関、企業及び自治体の導入拡充により継続的な成長を実現

### 疾患ソリューション事業

クライアント向けに、初期開発から、運用、データ分析、情報配信まで複数サービスを提供

開発	初期開発		患者データ分析	情報配信・介入
		改修	改修	改修
ランニング	利用料	利用料	利用料	利用料
	1年目	2年目	3年目	4年目

### マイカルテ事業

患者のデータを医療機関/企業/自治体がリモートで管理可能なマイカルテを提供

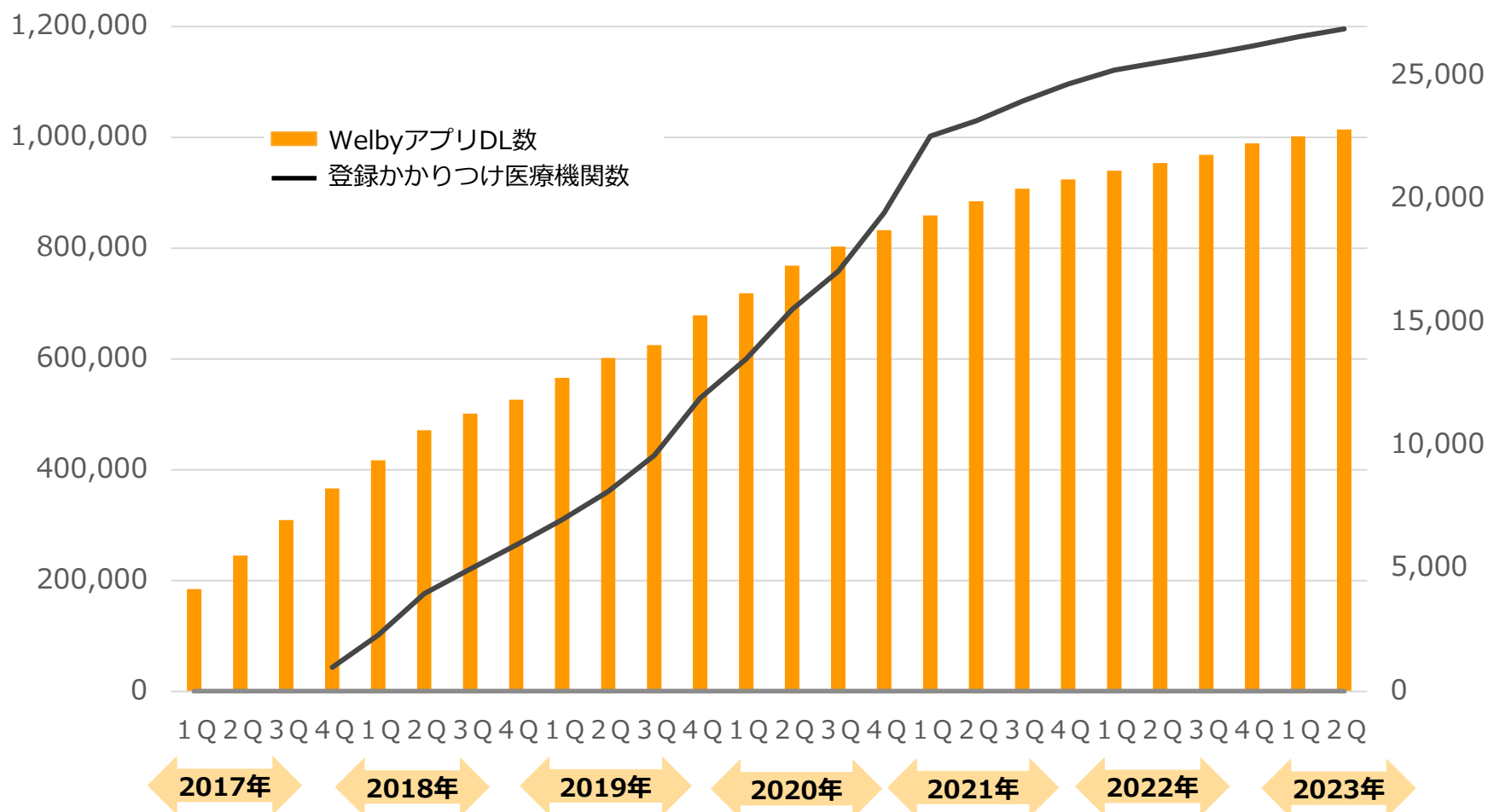
導入	初期開発			
ランニング	利用料	利用料	利用料	利用料
	1年目	2年目	3年目	4年目

### 収益構造（事業合計）

初期導入①	初期開発②	初期開発③	情報配信・介入①
			改修③
			データ分析②
		改修②	改修②
初期開発①		データ分析①	データ分析①
	改修①	改修①	改修①
		利用料③	利用料③
	利用料②	利用料②	利用料②
利用料①	利用料①	利用料①	利用料①
利用料①	利用料①	利用料①	利用料①
1年目	2年目	3年目	4年目

※①、②、③は異なる案件の想定 ※ランニング利用料は原則定額

## 2023年6月末現在でアプリDL101万人超、登録かかりつけ医療機関数は2.6万施設超



大項目	項目	主要なリスク	主な対応策
事業運営	個人情報の取り扱いについて	個人情報流出等の不測の事態が生じて患者個人のプライバシーが侵害される可能性	セキュリティの強化、個人情報保護法を遵守するとともに、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)であるISO27001の認証を取得。GDPR等諸外国の個人情報保護法制についても、外部弁護士等専門家に確認をしながら対応
事業環境	競合について	PHR業界での競合は同様の規模感のものは現在明確に存在しないが、今後高い知名度、幅広い顧客基盤を有する他社の参入等、当社の競争優位性が低下する可能性	対象疾患領域での早期のユーザー獲得、提供アプリの最適なUI/UXを追求した機能設計、特色あるサービスの提供、取引の安全性の確保やカスタマーサポート充実への取り組みなどにより対応
その他	各種規制について	関連法令や業界団体による規制等の改廃、新設が行われた際に、当社が何らかの対応を余儀なくされる可能性	渉外担当者を通じて制度改正のモニタリングや管轄官庁と連携して対応
事業運営	収益の季節変動性について	外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期における売上高及び利益がそれらの時期に集中する傾向	内資系製薬企業や他業種からの受注を拡大するなど案件の平準化により対応

※有価証券報告書記載の【事業等のリスク】に記載の内容のうち、主要なリスクを重要度が高い順に抜粋。その他のリスクは有価証券報告書を参照。

回次		第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
決算年月		2018年12月 <sup>※</sup>	2019年12月 <sup>※</sup>	2020年12月	2021年12月	2022年12月
売上高	(千円)	808,005	798,516	864,644	1,139,189	1,050,994
経常利益又は 経常損失 (△)	(千円)	153,959	△1,354	△237,404	△109,671	73,641
当期純利益又は 当期純損失 (△)	(千円)	176,566	△11,303	△353,093	△130,675	33,909
資本金	(千円)	684,900	903,050	916,650	916,650	916,650
発行済株式総数	(株)					
普通株式		1,855,000	7,784,800	7,832,800	7,832,800	7,832,800
A種優先株式		—	—	—	—	—
純資産額	(千円)	1,243,330	1,668,327	1,357,539	1,259,278	1,274,118
総資産額	(千円)	1,406,481	1,829,182	1,520,139	1,394,108	1,395,516

※当社は2018年3月30日付で1株につき1,000株に分割し、2019年10月4日付で1株につき4株に分割しました。

## 本資料の取扱いについて

---

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、進捗状況を含む最新の内容を半期決算毎に開示する予定です。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

